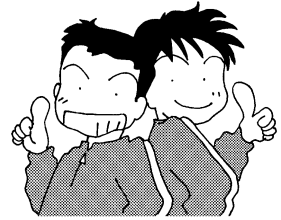


ほけんだより



令和4年1月13日

陽北中学校

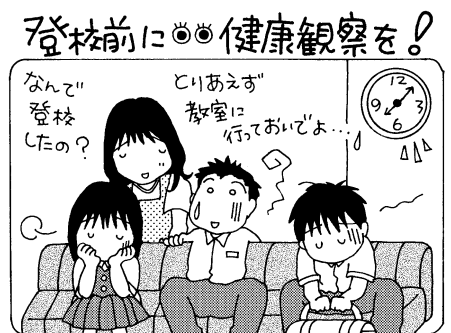
No.13

コロナ第6波にご用心!!

昨年末から新型コロナウイルス感染者が急増し、市内でもクラスターが発生しています。**オミクロン株**は感染力が強いと言われたデルタ株をはるかにしのぐ勢いで急増していて、**いつ誰が感染してもおかしくない状況**です。今まで以上に**ひとりひとりが感染予防に努め、「自分の命は自分で守る」「他人の命も脅かさない」**つもりで行動してください。**学校生活での感染予防対策**は、今までと大きく変わりません。

- ①発熱がなくても、体調不良の場合は登校しない(最重要)
- ②マスクを着用し、大声を出さない。
- ③換気をよくする。
- ④人との距離をとる(おやみに人に触らない)
- ⑤石けんやハンドソープで丁寧に手を洗う。
- ⑥エチケット歯みがきを心がける。

など、今まで以上に意識して生活しましょう。



オミクロン株は、かぜやインフルエンザと区別が付きにくいそうです。そこで**特に大切なのは「体調不良の時に登校しない」**ことです。登校直後に体調不良で保健室を利用する生徒がいます。**朝から体調が悪い場合は、家で休養してください。**3年生は高校入試を控えています。他の学年も進級に向け大切な時期です。「今大切なことは何か」もう一度考えていただきたいと思います。

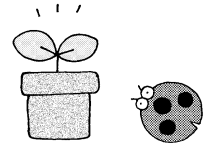
約2年前に新型コロナウイルスの発生があったときに比べ**私たちの危機意識が薄れて**います。身近に感染者や重症化する人がいないと、忘れてしまうことが多いものですね。**今一番怖いのが私たち自身の中にある「コロナに対する慣れ」**です。**コロナに対する慣れから脱却**しましょう。

大切な性の話 ～多様な性について①～

性については多くの人が、女性と男性の2つの性しか存在しない、異性を好きになるのが当たり前と思っているかもしれません。このような性についての思い込みは、世の中にたくさん存在しています。

しかし実際は、**心と体の性別に違和感がある人やない人、同性を好きになる人や異性を好きになる人、好きになる相手の性別にこだわりがない人**など、様々な性の在り方があります。性は、**性自認**（心の性）、**身体的性別**（からだの性）、**性的指向**（どんな性別を恋愛の対象とするか）などの様々な側面を持っています。**性自認や性的指向は自分では選べないもの**、無意識に作られるものとされています。

《LGBTQ+ってなに？》



みなさんは **LGBT** という言葉を聞いたことがありますか？ **LGBT** とは、**レスビアン**（Lesbian）**ゲイ**（Gay）**バイセクシャル**（Bisexual）**トランスジェンダー**（Transgender）の頭文字をとって、**性的マイノリティ**の人たちを表す言葉のひとつとして用いられています。（マイノリティは少数派という意味）

レスビアン（同性を好きになる女性） **ゲイ**（同性を好きになる男性）

バイセクシャル（同性を好きになることも、異性を好きになることもある人）

トランスジェンダー（身体の性別とは違う性別を生きる、生きたいと望む人）

最近では**クエスチョニング**（性自認もしくは性的指向が決められない、分からない）、**アセクシュアル**（他人に恋愛感情を抱かない）、**エックスジェンダー**（性自認が男性・女性どちらとも感じる、どちらとも感じない）などといった「LGBT」の他にも多様なセクシュアリティの存在が明らかになり、**Q+**と表します。**LGBTQ+**の人は**人口の8.9%**（2020年）ほどと言われているので、**左利きやAB型の血液の人と同じくらいの割合**でいるのです。人は多数派の意見を「正しい」少数派の意見を「おかしい、間違い」と思いがちです。しかし、顔や性格が違いうように性も違って当たり前、**自分らしく生きられることが大切**ではないのでしょうか。皆さんはどう考えますか。知識とともに、その多様性について考えてみましょう。